

栃尾発電所の出力変更

2025年3月31日
北陸電力株式会社

当社は、栃尾発電所（岐阜県高山市奥飛騨温泉郷今見）の発電所出力を200kW増加し、3月28日から営業運転を開始しましたので、お知らせします。

このたび、神通川水系蒲田川の栃尾発電所で実施した性能確認試験において、既存設備の有効活用（最大使用水量の増加）により、発電所出力が200kW増加できることを確認したため、出力を変更しました。

なお、この出力変更に伴い、電気事業法の規定^{※1}に基づく「発電事業変更届出書」を2025年3月14日に経済産業大臣へ届け出しております。

当社は、引き続き、再生可能エネルギーの導入拡大などにより、脱炭素社会の実現に積極的に取り組んでまいります。

発電所名	最大出力	増加発電電力量	CO ₂ 排出量削減効果 ^{※3}
とちお 栃尾発電所	16,000kW (200kW増)	約40万kWh ^{※2} /年	約183トン/年

以上

別紙：栃尾発電所の概要

※1 電気事業法の規定（第27条の27第3項、第4項）

発電事業の届出事項に変更がある場合、経済産業大臣への届出が必要

※2 一般家庭約150世帯の年間使用電力量に相当

※3 当社2023年度調整後CO₂排出係数を使用して試算

栃尾発電所の概要



栃尾発電所 全景

	発電所諸元
運転開始年月	昭和32年6月
水車型式	立軸単輪四射ペルトン水車
発電機型式	立軸三相交流同期発電機
主機台数	1台
発電所出力	16,000kW (200kW増)
最大使用水量	6.43m ³ /s (0.23m ³ /s増)

以上